

サステナビリティ

## マテリアリティ2 サークュラーエコノミーの実現



帝人グループは、製品の長寿命化、3Rの促進によって、サーキュラーエコノミーの構築に貢献します。



これまでの社会は、大量生産、大量消費、大量廃棄を繰り返して進化してきました。しかしその結果、資源の枯渇や環境汚染、ひいては生態系に大きなダメージをもたらしました。帝人グループは素材をはじめとするものづくりの会社として、循環型社会に向け3Rに努めてきましたが、その取り組みをさらに進めていく必要があると考え、「サーキュラーエコノミーの実現」をマテリアリティとして掲げています。

消費するだけの経済が続く社会は「持続不可能」な社会であり、帝人グループは、自然の生態系サイクルのような「捨てる」という概念がない、資源が循環しつづける「サーキュラーエコノミー」への転換に貢献したいと考えています。生産活動で資源循環に努めるのはもちろんのこと、資源が排出されたところにリサイクル製品を還元して使ってもらう「地産地消型マテリアルリサイクル」など、社会の“サーキュラー化”を進めていくことで、深刻化する海洋プラスチック問題の解決にも貢献していきます。